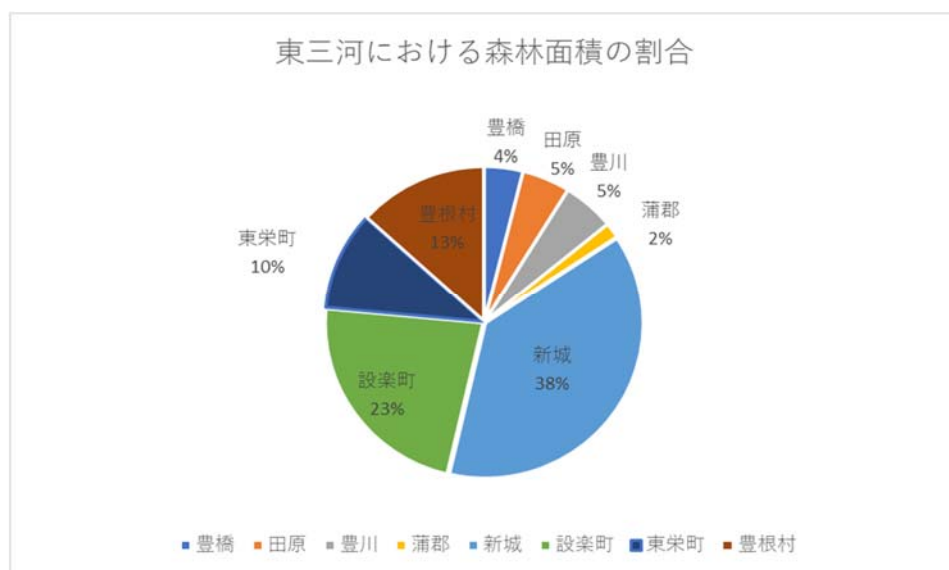


東三河地域の森林

東三河地域の森林資源の状況

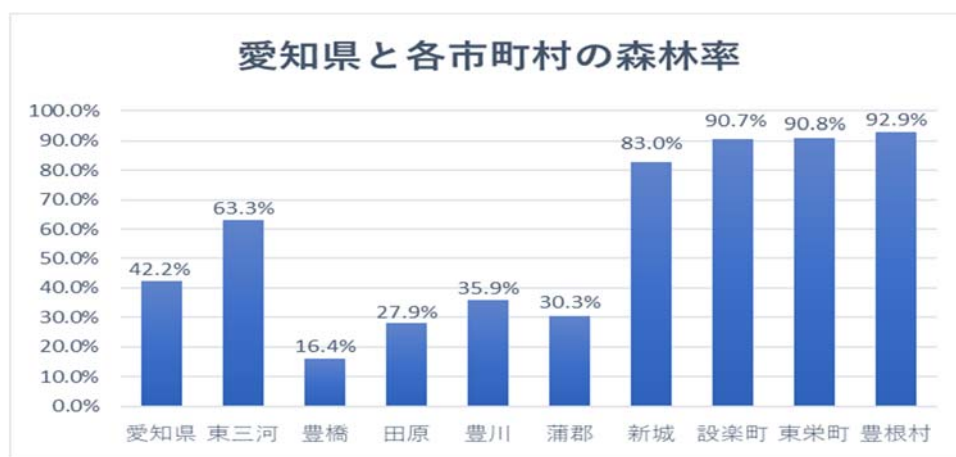
東三河の土地面積は、平成 31 年 3 月 31 日現在、172,347ha であり、うち森林面積は、109,078ha と全体の 63.3%を占めている。森林面積については、愛知県全体の 50%を占めている状況である。森林面積が最も大きいのが、新城市の 41,417ha（38%）、2 番目に大きいのが設楽町の 24,846ha（23%）となっている。また、最も小さいのが、蒲郡市の 1,724ha（2%）、2 番目に小さいのが、豊橋市の 4,285ha（4%）となっている。上流域が占める割合が大きく、下流域が占める割合が小さくなっている。



（平成 30 年度愛知県林業統計書より作成）

また、森林率については、東三河全体で見てみると、63.3%である。愛知県と比べると、愛知県が 42.2%であり 21.1%高くなっている。最も大きいのが、豊根村の 92.9%であり、2 番目に大きいのが東栄町の 90.8%となっている。また、最も小さいのが、豊橋市の 16.4%であり、2 番目に小さいのが、田原市の 27.9%となっている。

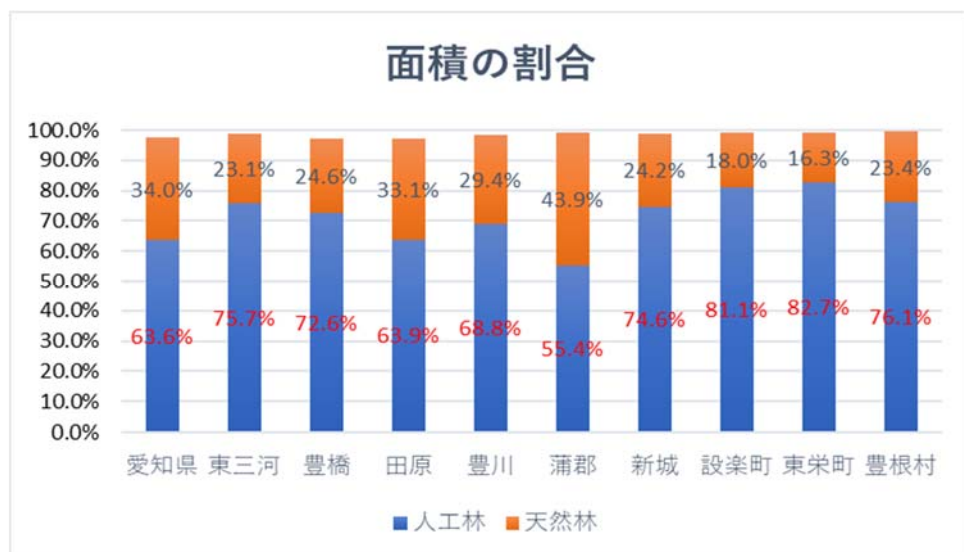
森林面積同様に、上流域が占める割合が高い一方で、下流域の占める割合が小さくなっている。



（平成 30 年度愛知県林業統計書より作成）

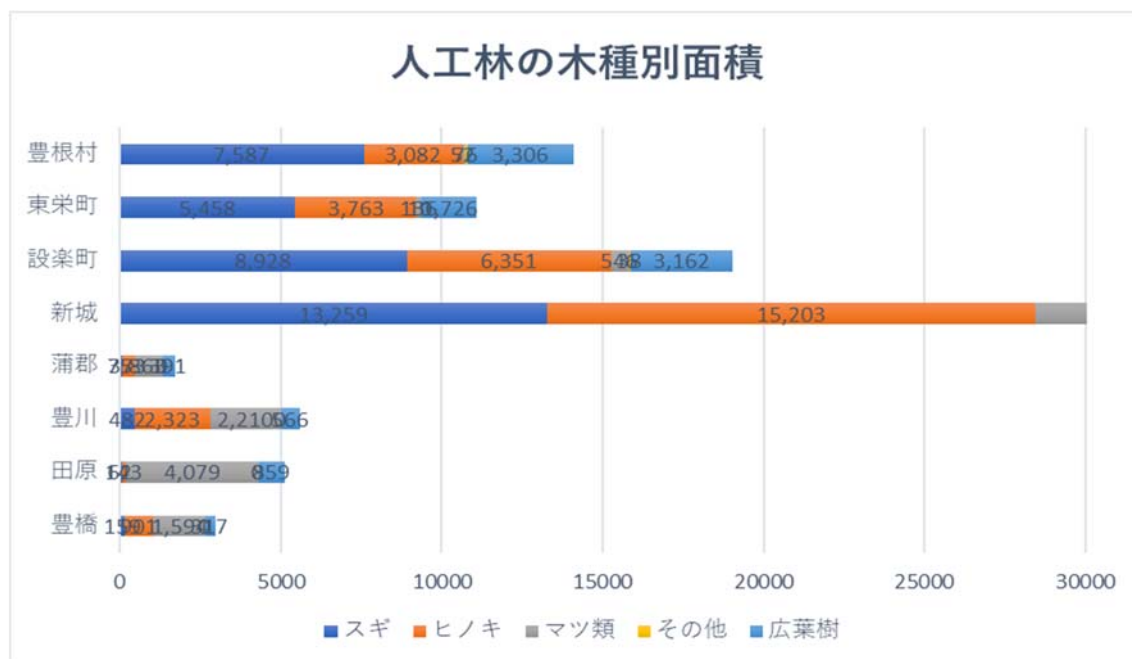
地域森林計画対象森林における人工林の面積については、愛知県全体では 131,137ha（人工林の割合 63.6%）であるのに対して、東三河森林計画区では 76,581ha（同 75.7%）となっており、人工林の占める割合が、愛知県と比較して 12.1%高くなっている。最も人工林の占める割合が大きいのが、東栄町の 82.7%であり、2 番目に多いのが、設楽町の 81.1%となっている。また、最も割合が小さいのが、蒲郡市の 55.4%であり、2 番目に小さいのが、田原市の 63.9%となっている。

昔から上流域に住む人たちが、生業として木を育ててきたことから、上流域の人工林の割合が高くなっている。



（平成 30 年度愛知県林業統計書より作成）

地域森林計画対象森林の立木地の樹種については、針葉樹の割合が多く、愛知県全体で 71.7%であるのに対して、東三河森林計画区では 81.3%と 9.6%高くなっている。上流域ではスギの占める割合が大きい一方で、新城市は、スギよりもヒノキの占める割合が大きいのが特徴である。



（平成 30 年度愛知県林業統計書より作成）

東三河地域の人工林

東三河森林計画区の人工林の齢級別面積を見ると、3/4が一般的な主伐期である50年生を超えており、全国比率（51.2％）に比べ高い。そのため、東三河地域内の民有林の森林資源を有効活用し、計画的に再造成することが必要である。

表 東三河森林計画区の人工林の年齢別面積

												(単位:ha,%)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
実数	東三河	33	88	129	570	974	1,571	2,370	3,444	3,913	6,829		
	愛知県	50	165	331	1,175	1,638	3,034	4,594	5,998	7,542	11,791		
	全国	57,032	82,834	98,927	142,764	188,258	277,234	427,377	620,133	825,287	1,136,020		
構成比	東三河	0.0	0.1	0.2	0.7	1.3	2.0	3.1	4.5	5.1	8.9		
	愛知県	0.0	0.1	0.3	0.9	1.2	2.3	3.5	4.6	5.7	9.0		
	全国	0.7	1.0	1.3	1.8	2.4	3.5	5.4	7.8	10.4	14.4		
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20+	合計	11+
実数	東三河	8,912	11,451	6,537	3,994	3,850	3,875	4,568	3,608	3,833	6,154	76,704	56,782
	愛知県	16,322	19,009	12,073	7,258	6,378	6,466	6,904	5,268	5,442	9,798	131,236	94,918
	全国	1,219,320	1,112,040	715,791	291,554	174,348	139,532	109,744	84,517	70,228	129,946	7,902,884	4,047,020
構成比	東三河	11.6	14.9	8.5	5.2	5.0	5.1	6.0	4.7	5.0	8.0	100.0	74.0
	愛知県	12.4	14.5	9.2	5.5	4.9	4.9	5.3	4.0	4.1	7.5	100.0	72.3
	全国	15.4	14.1	9.1	3.7	2.2	1.8	1.4	1.1	0.9	1.6	100.0	51.2

注:年齢(人工林)は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1〜5年生を「1齢級」と数える。

(出所:東三河:平成28年度愛知県林業統計書、愛知県:全国:林野庁ホームページ「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」)

注: 齢級(人工林)は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1齢級」と数える。

(出所: 東三河: 平成28年度愛知県林業統計書、愛知県・全国: 林野庁ホームページ「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」)

東三河森林計画区の森林資源（立木地）は、2877 万 m^3 であり、10 年間で 12.5%増となっている。特に人工林の蓄積が 10 年間で 13.5%増と、毎年平均 30 万 m^3 増加している。そのため、東三河の森林資源を伐採し、使用し、植林する循環利用していく仕組みが必要である。

表 東三河森林計画区の森林蓄積の推移

(単位: 万 m^3 , %)						
	実数			増加率		
	平成20年度	平成25年度	平成30年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度
人工林	2,219	2,379	2,519	0.0	7.2	13.5
天然林	339	350	358	0.0	3.2	5.8
合計	2,557	2,729	2,877	0.0	6.7	12.5

(出所: 愛知県林業統計書)

東三河地域の森林の所有形態

東三河の林家数は 2015 年現在、約 4 千人、保有山林面積は約 5 百万 ha である。東三河地域の 1 林家当たりの保有山林面積をみると、8.0%と全国、愛知県より大きくなっている。市町村別にみると、設楽町、東栄町、豊根村の北設楽郡では規模が大きく、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市の三河湾沿岸地域では規模が小さくなっている。

表 東三河地域の林家数、保有山林面積

(単位: 戸、ha、ha/戸)			
	林家数(A)	保有山林面積(B)	B/A
全国	828,973	5,174,793	6.2
愛知県	12,641	92,018	7.3
東三河	4,005	32,232	8.0
豊橋市	385	3,304	8.6
豊川市	545	3,459	6.3
蒲郡市	216	736	3.4
新城市	1,606	10,965	6.8
田原市	124	678	5.5
設楽町	645	5,307	8.2
東栄町	316	4,340	13.7
豊根村	168	3,443	20.5

(出所: 2015年農林業センサス)

公益社団法人東三河地域研究センター

東三河地域の林家数を保有山林面積規模別にみると、所有面積 3ha 未満が約 6 割を占めており、全国、愛知県とも同様と、小規模零細の所有形態が多い。市町村別にみると、三河湾沿岸地域の豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市は、3ha 未満の林家が 7 割を占めるなど規模の小さい林家が多いが、北設楽郡の設楽町、東栄町、豊根村は 3ha 未満の林家が半数以下と少なくなり、特に豊根村の 4 割、設楽町の 2 割の林家が 10ha 以上と規模の大きい林家が多くなっている。

表 東三河地域の保有山林面積規模別の林家数

(単位:戸、%)												
	総数	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10～50ha	50ha～	総数	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10～50ha	50ha～
全国	828,973	469,816	146,871	110,944	90,980	10,362	100.0	56.7	17.7	13.4	11.0	1.2
愛知県	12,641	7,502	2,074	1,553	1,306	206	100.0	59.3	16.4	12.3	10.3	1.6
東三河	4,005	2,285	663	475	493	89	100.0	57.1	16.6	11.9	12.3	2.2
豊橋市	385	255	51	38	29	12	100.0	66.2	13.2	9.9	7.5	3.1
豊川市	545	390	71	38	41	5	100.0	71.6	13.0	7.0	7.5	0.9
蒲郡市	216	167	23	15	9	2	100.0	77.3	10.6	6.9	4.2	0.9
田原市	124	90	12	9	10	3	100.0	72.6	9.7	7.3	8.1	2.4
新城市	1,606	909	281	203	179	34	100.0	56.6	17.5	12.6	11.1	2.1
設楽町	645	262	130	103	138	12	100.0	40.6	20.2	16.0	21.4	1.9
東栄町	316	153	70	49	36	8	100.0	48.4	22.2	15.5	11.4	2.5
豊根村	168	59	25	20	51	13	100.0	35.1	14.9	11.9	30.4	7.7

(出所:2015年農林業センサス「林家調査結果」)

全国森林計画（広域流域）では、東三河森林計画区は木曽川流域に含まれている。木曽川流域における不在村が保有する森林面積の割合は、26.6%と 1/4 であり、全国平均（24.4%）より高いが、遠州地域や南信州地域が含まれる天竜川流域（27.3%）より低い傾向にある。木曽川流域は、天竜川流域に比べ県内の不在村者の比率が高く、一方天竜川流域は木曽川流域に比べ県外の不在者の比率が高いことが特徴である。森林の経営管理を進めるにあたって、不在村森林の増加や、所有者不明、境界未確定の森林の存在等は大きな課題となっている。

表 不在村者保有の森林面積の割合

(単位:万ha、%)									
	計	在村者	不在村者		計	在村者	不在村者		
			県内	県外			県内	県外	
全国	1,343.4	1,016.2	327.2	195.5	131.7	100.0	75.6	24.4	9.8
木曽川(注1)	63.4	46.5	16.9	10.6	6.3	100.0	73.4	26.6	9.9
天竜川(注2)	25.4	18.4	6.9	4.0	2.9	100.0	72.7	27.3	11.5

注1:長野県木曽谷、岐阜県飛騨川、長良川、揖斐川、木曽川、愛知県尾張西三河、東三河（森林計画区）

注2:長野県伊勢谷、静岡県天竜（森林計画区）

(出所:2005年農林業センサス)

森林経営の新しい仕組み

愛知県では、これまで 21 年よりあいち森と緑づくり税を導入するとともに、東三河地域では平成 17 年より水道料金利用の 1 tにつき、1 円を拠出し、そうした資金をもとに森林の維持管理を進めてきた。

こうした中、令和元年度に、経営や管理が適切に行われていない森林について、適切な経営や管理の確保を図るため、市町村が仲介役となり森林所有者と意欲と能力のある林業経営者をつなぐシステムの構築を目的とした、「森林経営管理法」が施行された。これにより、市町村には、経営管理が行われていない森林のうち、林業経営に適さない森林については市町村が森林所有者の委託を受け経営管理し、林業経営に適した森林は林業経営者に再委託することで、林業経営の効率化と森林の管理の適正化を促進

公益社団法人東三河地域研究センター

することが役割として求められる。特に、これまで手がつけられなかった所有者不明森林等も、経営管理権の設定の特例措置により、整備ができるようになり、間伐等の施業や路網の整備が効率的に実施できるようになった。

また、パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、「森林環境税及び森林環境譲与税」が創設された。特に森林環境譲与税は、令和元年度から譲与することになっており、その譲与基準として、市町村は、私有林人工林面積（5/10）、林業就業者数（2/10）、人口（3/10）で按分されることになった。

令和元年度の市町村の森林環境譲与額をみると、東三河地域全体では1億5千万円であり、愛知県全体の約3割を占める。市町村別にみると、新城市が5千円と最も多く、続いて設楽町、豊根村、東栄町の北設楽郡となっている。なお、全国で贈与額上位10位の市町村をみると、横浜市、浜松市、大阪市、静岡市、京都市、札幌市、名古屋市などの人口の多い政令指定都市が多く譲与される傾向にある。

表 愛知州市町村及び東三河の森林環境譲与税
並びに譲与額全国上位10位の市町村

(単位:千円)		(単位:千円)	
愛知州市区町村	478,992	1 神奈川県	横浜市
東三河	152,185	2 静岡県	浜松市
豊橋市	17,523	3 大阪府	大阪市
豊川市	11,097	4 和歌山県	田辺市
蒲郡市	4,142	5 静岡県	静岡市
新城市	47,429	6 京都府	京都市
田原市	6,189	7 北海道	札幌市
設楽町	28,018	8 愛知県	名古屋市
東栄町	18,081	9 岐阜県	郡上市
豊根村	19,706	10 大分県	日田市

(出所:総務省ホームページ「森林環境税及び森林環境譲与税について」)

同譲与税の使途としては、市町村では、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用と記されている。

設楽町では、同譲与税を活用し、森林・林業の意義や木材利用使途に関する普及啓発を目的として、令和元年10月から約150人の職員等を対象に、従来着用していたプラスチック製の名札ケースを町産のヒノキ材を使用した名札ケースに切り替える取組を行っている。

主な取組・概要

設楽町産のヒノキ材を活用した名札を森林組合、障害者就労施設が連携し製作。町内外への木材利用の普及啓発に活用する。

【事業名】名札ケース製作事業

【事業費（全額譲与税）】264千円

【実施時期】令和元年10月1日～年度内

【事業内容】

- ・名札ケースはヒノキ人工林の間伐により発生した木材を材料に使用（縦7cm、横10cm、厚さ7mm）。
- ・役場全職員及び町議会議員を合わせて約150人が着用。
- ・同町を水源とする豊川の水を利用している下流域や、交流・協力協定を結ぶ自治体にも使用を呼び掛けており、今後、一般向けの販売も検討。



(出所：森林環境譲与税の取組事例集（令和2年1月）)

図 設楽町事例：町産材を活用した木材利用普及啓発及び林福連携

東三河地域の「森林サービス産業」の動き

「森林サービス産業」とは、山村の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、森林空間を健康、観光、教育の多様な分野で活用する新たなサービス産業である。平成30年度に、公益社団法人国土緑化推進機構により設置された「森林サービス産業」検討委員会により、近年、全国的に「森林サービス産業」創出の期待が高まっている。

東三河地域でも、観光・レジャー、教育、健康に関する高付加価値サービスを提供する各種主体が存在する。こうした森林サービス産業を通じて、木材生産以外の多様な手段と機械での雇用と収入機会を確保させ、山村地域の振興を図っていくことが重要である。

表 東三河地域における「森林サービス産業」の事例

観光・レジャー	アウトドア	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ・バンガロー（つぐ高原グリーンパーク、愛知県民の森、とよねランド オートキャンプ村、バンガロー村古里とみやま、きららの里、等） ・アスレチック（フォレストアドベンチャー・新城、小さなくらしとソトアソビ、等）
	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルランニング（（一社）ダモンテ、（一社）奥三河高原アウトドア協会、奥三河パワートレイル、等） ・スキー・スノーボード（茶臼山高原協会、東海 KINGS、等） ・サイクリング（ペダルマーク推進実行委員会、等） ・自動車ラリー（新城ラリー実行委員会、アドベンチャーとよね、等）
	森林体験	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備作業体験（（特非）穂の国森づくりの会、（合）新城キッコリーズ、等） ・クラフト（木と革 aoyama、チェーンソーアートクラブ東栄、工房もしかしたら、NPO 法人てほへ、kamomilla、等）
	農泊	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家宿泊（民泊ミンデン、東栄町体験型ゲストハウス danon だのん、タカハウス、等） ・農泊サポート（（特非）奥三河田舎暮らし隊、等）
教育	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察（鳳来寺山自然科学博物館、（特非）穂の国森づくりの会、奥三河ふるさとガイド、設楽町盛り上げ隊、等） ・星空観察（奥三河☆星空の魅力を伝える会、スターフォレスト御園、休暇村茶臼山高原、茶臼山高原協会、等）
	自然・農業体験	<ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ狩り（あさがね農園、東宝苑、等） ・ブルーベリー狩り（あさがね農園、（特非）てほへ、リバーサイド園 ヨリタ、等） ・掘み取り体験（つくで手作り村、八雲苑、寒狭川広見ヤナ、等） ・釣り（つくで手作り村、段戸湖ルアー・フライ管理釣り場、花の木公園、グリーンステージ花の木、各漁協、等） ・田んぼ体験・農業体験（ハッピーランドプロジェクト、魔女の自然栽培農園、豊根村観光協会、等） ・農産物加工体験（大東牧場、（特非）てほへ、交流文化センター千代姫荘、豊根村観光協会、大入の郷、三沢高原いこいの里、あさがね農園、等） ・民俗体験（志多ら、等）
健康	体験	<ul style="list-style-type: none"> ・コスメ体験（naori、手作りコスメ ほしの雫、等） ・運動体験（なつみリラックス）
	健康品	<ul style="list-style-type: none"> ・スキんケア（山の搾油所、等） ・飲食（noix、等）
	香り	<ul style="list-style-type: none"> ・香り（魔女の自然栽培農園、奥三河蒸留所、等）

（出所：各種資料をもとに東三河地域研究センター作成）